

債権管理機構について

1. 債権管理機構の概要
2. 主な取り組み
3. 債権管理機構の成績

平成29年3月

総務部債権管理機構

1. 債権管理機構の概要

今までの債権回収業務の課題

回収コストと収納額の最適なバランスがわからない



“差額”の最大化をめざす仕掛け

を作り、最適解を探り続ける

● 平成26年4月1日より“債権回収会社”的な組織

総務部
債権管理機構

- “差額”の最大化をめざすことがをミッション

“差額” = 債権回収額 - 回収コスト(人件費等)

- 市債権の90%以上を占める市税と国保を対象とし
債権回収を一元的、専属的に実施

- 常勤職員の成績加算(減算)を実施
＜”差額”と固定ベース値4.2億円との差の7.5%加算又は2.5%減算をボーナスに反映＞

● “差額”の最大化をめざす仕組み

- 常勤職員は成績評価を実施 ⇒ 成績加算(減算)の配分に反映 <債権回収実績+取組実績>
- 常勤職員とアルバイトの業務の棲み分けと協力体制の構築 ⇒ 効率的な債権回収
- アルバイト職種の新設 ⇒ 債権管理補助員(1,000円/h) 債権管理員(1,100円/h) 債権管理主任(1,200円/h)



職員のモチベーション向上と人材確保

2. 主な取り組み

新たな取り組み

- 大阪府域地方税徴収機構への参加(平成27年度から)
- 差押不動産(土地・建物)の公売を大阪府の合同公売で実施(平成27年度)
- 差押自動車(メルセデスベンツ)の公売をネットオークションで実施(平成26年度)

既存の取り組み強化

- 現年度市税の安易な分納誓約は受けない → 納期限内納付の増加
- 分納理由書において取引金融機関の記載の追加 → 財産調査の効率化
- 確定申告者に対する国税還付金調査を徹底 → 国税還付金の着実な差押

3. 債権管理機構の成績

平成26年度 債権回収額

555,368千円



差額457,629千円

平成27年度 債権回収額

699,266千円



差額595,801千円

平成28年度 債権回収見込額

675,092千円



見込差額571,626千円



*平成20年～平成25年度の“差額”平均額 446,908千円に対して

平成26年度 2.3%増 平成27年度33.3%増 平成28年度27.9%増

⇒より効率的・効果的な取り組みを引き続き検討し、差額の最大化を目指す